

8/7
503

「戦争させない、9条壊すな」と抗議
の声を上げる参加者―6日、国会前



広島・長崎に廃案誓う

戦争法案反対 国会前で訴え

戦争法案を許さない国民の声を広げ、法案成立を阻止しようとの6日夜、「総がかり行動実行委員会」が衆院第2議員会館前で集会を開きました。3000人（主催者発表）が参加し「戦争法案いまずく廃案」とコールしました。「孫は戦場に送らな

い」や「広島、長崎の犠牲に誓う」と書かれたプラカードが目立ちます。参加者や各団体の代表のあいさつで「平和が一番」「二度と戦争をしない」との声が相次ぎました。「70年前の8月6日、広島で生まれた」と話す横浜市在住の女

性は、毎年欠かさず広島を訪ねています。今年も「平和を壊そう」としている安倍政権が許せない」と広島訪問の計画をやめて、国会前に駆けつけました。「首相は、廃案を願う国民の声を聞くべきです」横浜市から参加した

小松崎博さんは「国会審議を重ねることに戦争法案の矛盾が浮き彫りになっている。廃案にするため、これからも参加し続けます」と

語りました。新潟県から参加したという男性(66)は「政府の主張、姿勢を見ていたら、いてもたってもいられなくなった。できることはなんでもやっていきたい」と話しました。

日本共産党の辰日孝太郎参院議員があいさつしました。民主、社民の国会議員もあいさつしました。